



第七次前橋市総合計画について詳しくは本紙3月15日号の別冊特別号か、本市ホームページをご覧ください。

6つのまちづくりの方向性(柱)

(**新**は新規事業、**充**は充実事業、1万円未満は端数整理)

1 人をはぐくむまちづくり(教育・人づくり)

ふるさとを愛し、多様性を尊重する心豊かな人間性を育むとともに、あらゆる世代が共に学び、支え合えるまちを目指します。

充 前橋イングリッシュサポーターの増員…1,812万円

小3・小4の英語の授業支援を行うイングリッシュサポーターを増員します。

充 小学校教科指導講師の増員……………1,667万円

小学校の教科指導講師を増員し、学習指導の充実と教員が子どもと向き合う時間の確保を図ります。

新 大胡城跡ガイダンス施設整備……………410万円

旧大胡幼稚園の一部を改修し、大胡城に関連する資料展示などを行うガイダンス施設を整備します。



子どもたちの成長を支援

放課後留守家庭児童の健全育成と安全・安心な「遊びと生活の場」を提供して、保護者の就労と子育ての両立を支援していきます。



子育て施設課 内山 信也(左)、小暮 佳子(右)

2 希望をかなえるまちづくり(結婚・出産・子育て)

結婚や出産の希望をかなえられ、子育てを楽しむことができるまちを目指します。

新 結婚応援事業補助……………45万円

結婚を希望する男女の出会いの場を創出する事業に対して補助します。

充 放課後児童クラブ(クラブ数63から71へ増加)…9億1,546万円

放課後児童クラブを増設して子どもが安心して過ごせる環境の充実を図ります。

新 病児保育施設整備費補助……………3,299万円

民間の医療機関が実施する病児・病後児保育施設の整備を補助します。

● 6つのまちづくりの方向性(柱)
第七次前橋市総合計画で掲げる「6つのまちづくりの方向性(柱)」で取り組む事業を紹介します。

平成30年度予算が決定
国財政課 ☎027・8998・6542

前橋らしさを発揮し
新たな価値を創造します



● 県都まえばし創生プランに基づく地方創生の実現
県都まえばし創生プランに掲げる施策の推進により、少子化と人口減少問題を克服し、将来にわたる活力ある地域を維持していきます。

本年度の各会計予算が第1回定例市議会で可決されました。総額は、2,608億7,142万円。ここでは主な事業や施策などを紹介します。

本年度は、「第七次前橋市総合計画」に掲げた将来都市像「新しい価値の創造都市・前橋」の実現のため、教育・人づくり、結婚・出産・子育て、健康・福祉、産業振興、シティプロモーション、都市基盤の6つのまちづくりの柱を基本に、多様化・高度化する市民ニーズを的確に把握した上で、市政運営に取り組みしていきます。

また、選択と集中や前例踏襲からの脱却、行財政運営のスリム化と効率化などの取り組みの下、事業を展開。本市らしい市民サービスの充実を図りながら財政の健全化を進めます。

平成30年度各会計予算

本市の会計は、市の基本的・中心的な会計である一般会計と特別会計、企業会計に分かれています。特別会計は保険料など特定の収入で事業を行い、企業会計は複式簿記を採用して事業を行っています。

会計名	当初予算	前年度予算	伸び率%
一般会計	1,434億3,181万円	1,458億9,238万円	△ 1.7
国民健康保険	344億2,807万円	440億3,800万円	△ 21.8
後期高齢者医療	41億1,183万円	38億6,093万円	6.5
競輪	222億3,739万円	197億8,528万円	12.4
農業集落排水事業	12億5,454万円	11億4,711万円	9.4
特別会計	301億 532万円	300億2,108万円	0.3
母子父子寡婦福祉資金貸付金	3,617万円	3,472万円	4.2
新エネルギー発電事業	3億5,212万円	2億7,713万円	27.1
用地先行取得事業	1,010万円	1,010万円	0.0
産業立地推進事業	17億6,948万円	27億8,810万円	△ 36.5
小計	943億 502万円	1,019億6,245万円	△ 7.5
企業会計	98億5,344万円	98億7,622万円	△ 0.2
水道事業	132億8,115万円	131億3,182万円	1.1
小計	231億3,459万円	230億 804万円	0.6
合計	2,608億7,142万円	2,708億6,287万円	△ 3.7